



（おおくほ たかよ）
大久保 貴世さん



メーカーお客様相談室等を経て、現在、一般財団法人インターネット協会・主幹研究員。
インターネットのルール&マナーの啓発、トラブル相談窓口の相談対応、インターネット利用アドバイザーの育成、フィルタリング普及啓発などを担当。
＜委員実績＞
警察庁「総合セキュリティ対策会議サイバーボランティア育成分科会」、文部科学省「中学生を中心とした子供の生活習慣づくりに関する検討会」「情報教育指導力向上支援事業(情報モラル)協力者会議」「リーフレット作成委員会」「学校ネットパトロールに関する調査研究」、東京都教育庁「有害情報から子供を守るための対策検討委員会」など
＜活動歴＞
「朝日中学生ウィークリー ネット&ケータイ安全使いこなし術2008年連載」「新入生へのメッセージ2007年～2013年」「小学保健ニュース2012年連載」など。その他、ビデオ教材監修、NHK教育テレビ出演など。

（いしばし あきよし）
石橋 昭良さん



警視庁心理職を経て、2008年より文教大学人間科学部准教授(臨床心理士)。
警視庁では少年警察部門において、非行少年や保護者へのカウンセリング、特異な少年事件の分析などに従事。現在は教鞭を執る傍ら、社会的活動として非行問題、いじめ、保護者対応について関係者への指導・助言を实践。専門領域は、非行臨床、犯罪心理学。
主な論文は、「インターネットと子どもの攻撃性(児童心理)2014年」「少年による暴力行為の発生要因と支援について(捜査研究)2013年」「性非行の理解と初期支援(捜査研究)2013年」「少年によるインターネット利用の諸側面と心理的影響(犯罪と非行)2011年」「違法ドラッグ(いわゆる脱法ドラッグ)と少年警察活動(現代のエスプリ)2010年」など。
＜近著(共著)＞
「司法福祉入門(上智大学出版)2010年」「生徒指導提要(文部科学省)2010年」「少年事件(同人社)2008年」「少年非行の行動科学(北大路書房)2008年」など。

（いづみこ まなみ）
飯室 眞奈美さん



元警視庁女性警察官。結婚退職を機に郷里山梨にもどる。
現在は、全国読売防犯協会専任講師、東京都青少年・治安対策本部特命専任講師を務め、日本犯罪心理学会正会員として犯罪心理を研究。
山梨県若者サポートステーション(厚生労働省事業の一環)にあり、若者の職業的自立支援機関)、山梨学院大学においてキャリア・カウンセラーとして勤務。
社会問題を多面的に捉えつつ子どもから高齢者、教育機関、地域、事業所等まで、幅広い年代層やジャンルの方々に腹話術人形とともにユニークな語りや自作映像を駆使して防犯対策を発信している。
＜著書＞
『みつけた!』(電子書籍もあり)
<http://www.boon-gate.com/> / 『テレビシー』CD付(文芸社刊)
＜論文＞
『腹話術による視覚・聴覚の感情伝達効果について・豊かなコミュニケーションへの応用』『犯罪・非行心理に迫る腹話術の効果』『小学校特別支援学級でのパペットを用いた授業実践報告』(日本パペットセラピー学会誌掲載論文)

（いとう よしあき）
伊藤 善彬さん



北海道札幌市中央区在住。
芸名:白毛 満(しらげみちる)
長年にわたり、小学校、中学校の教師として教育現場で活躍し、退職後は、幼稚園園長や複数の大学で非常勤講師を務めた。
現在は、北海道造形教育連盟顧問、腹話術愛好会「腹笑会」(札幌)会員。著書として「子どもってすごい」(文芸社)がある。
腹話術との関わりはきわめて深く、長年「夢と笑いと元気」の宅配人として、各種セミナー等で腹話術講師として活躍している。
世界腹話術師の祭典に参加して、シンポジウム・基調講演をつとめたことがある。
趣味も合唱、絵画、落語など非常に多彩。講演にも十分生かされている。

（おののら ゆりこ）
小野寺 百合子さん



元女性警察官・少年補導専門員として約30年間、警視庁、千葉県警察に勤務。
現在は千葉県内にある桜林高等学校のアドバイザー。大学在学中よりBBS運動(Big Brothers and Sisters movement)を通して非行少年を助けるボランティア活動に従事し、職業を持つかわら、「非行のない明るい社会をつくる」ため、保護司や更生保護女性会の会員として地域の活動にも積極的に参加している。
また、教職員や児童、生徒、PTAを対象とした講演活動にも取り組んでいる。
＜著書＞
「非行少年たちの再出発～補導の現場にみる子どもの心とその対応～」
「Yuriko's Cafeからお答えします」

（いしかわ ゆう）
石川 ユウさん



臨床心理士。元警視庁心理専門職員。
警視庁少年育成課で長年にわたり心理専門職員として都内各地の少年センターで、いじめ、非行、不登校や被害相談など、様々な問題をかかえている子どもや親へのカウンセリング、少年事件の分析、少年問題の調査研究に従事。
また1996年からは足立区教育相談センターで教育相談に従事。現在は都内の中学校や高校でスクールカウンセラーをしている。



日本薬物対策協会 【連絡先】 〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨1-17-5 パークホームズ西巣鴨308 TEL/FAX 03-5394-0284 世話役 馬崎奈史

ロサンゼルスに本部を置く「薬物のない世界のための財団」の日本支部。同協会は、2008年から小中高等学校で薬物乱用防止の講演や啓発活動を行っている。2013年5月から全国読売防犯協会に講師を派遣している。現在8人の講師が、学校や地域において講演や街頭キャンペーンなど、薬物乱用防止の啓発活動に取り組んでいる。